

2025年5月16日(金)9:00からCRTスタジオで収録

## 日本のソフトパワーを考える

—身近なところでも「ソフトパワー」を捜し出し、磨き込みましょう！

開倫塾

塾長 林明夫

## 1. &lt;ヨーロッパでよく聞かれるのは&gt;

- (1) 「日本人の勤勉さとは」
- (2) 「日本の教育内容とは」
- (3) 「日本の車が故障しないのはなぜ」



## 2. (1) 「日本に新たな価値を見出し、直接投資の場として注目」

- (2) 「日本は国内の分断や対立、格差などが相対的に少なく、比較的安定」
- (3) 「日本は、文化・人材など6つのテーマから算出した国家ブランド指数 (NBI) で、ついに首位に立った」

## 3. (1) 「共感重視」

- (2) 「顧客の立場に立つ、きめ細かい商品開発」
- (3) 「従業員を大切に作る組織風土」



## 4. (1) 「スタバの日本法人の業績が高いのは、米国型のシステム力と、日本が得意とする共感力の融合のため」

- (2) 「米国のマネジメントシステムに沿いながらも、研修や面談などスタッフに染み込ませる徹底力は、米国をしのぐ」
- (3) 「数多くのスタバ好きを生むのは、地域に応じた店づくりや、日本独自の商品力に加え、こうした質の高い接客力を通じた可視化できない雰囲気醸成にある。

○ 「デジタル化は遅れたが、従業員がやりやすくなる仕組みができるまで導入しなかった」

○ 「一方的な効率化は、『スタバらしさ』を奪うとの判断からだ」



## 5. (1) 「過剰なまでのものづくりへのこだわりが日本の武器である」

- (2) 「規模の追求では海外の企業に勝てないかもしれないが、多様性の勝負なら勝てるかもしれない」

- (3) 「部品メーカーを筆頭に、食やアニメ、マンガなどのコンテンツ分野で独自性の高い企業が増え、新たな国際競争力を獲得していこう」



6. (1) 「日本の価値が海外を中心に再び発見されているが、発信力は弱い」  
(2) 「フランスのワインのように、外国人の消費成熟度を高める戦略と人材育成が急務」  
(JFOODO 執行役、北川浩伸氏)

7. (1) 「自らの歴史や原点を見つめ直し、『～の価値』を磨くことは必要だ」  
(2) 「競争力は違いから生まれる」  
(3) 「日本流の新たなハーモニーを奏でたいものだ」

○以上は、日本経済新聞 5 月 10 日朝刊〈Deep Insight〉「スタバと日本再評価の是非」を参照してまとめたものです。

8. 自分の所属する企業や団体、学校などの「ソフトパワー」は何かを考え、徹底的に磨き込むことが大切と考えます。

〈例えば開倫塾〉の「ソフトパワー」を考えます。

- (1) 日本の「寺子屋」「藩校」「郷校」「私塾」を源流とする、「学習塾」「予備校」は、日本を代表する「ソフトパワー」であると確信します。  
(2) そうであるならば、開倫塾や開倫塾日本語学校は、地域社会を代表する「ソフトパワー」となるべく、一切の遠慮なく、磨き上げ、極め尽くしてまいりましょう。  
(3) 〈開倫塾のソフトパワーとは〉

- ① 「教え方日本一」
- ② 「全国模擬授業大会」
- ③ 「開倫塾『塾生目標 (I) (II) (III)』」
- ④ 「開倫模試」
- ⑤ 「開倫ネット (CP システム)」
- ⑥ 「高い倫理、高い学力、高い国際理解」
- ⑦ 「自己学習能力の育成」
- ⑧ 「効果の上がる学習方法」



○ 「理解・定着・応用」「学習の 3 段階理論」

- ⑨ 「夜 10 時 30 分まで、毎日、自学自習」
- ⑩ 「辞書・新聞・読書・図書館に慣れ親しみ、学習習慣とし、読解力を身に着ける」
- ⑪ 「開倫ユネスコ協会」
- ⑫ 「自分のことばでいえる (表現・説明できる)」「深い理解」

9. (1) このように、これら 12 を開倫塾独自の『ソフトパワー』と「定義」し、徹底的に磨き込む。

(2) コーエーテクモの「信長の野望」は、1984 年に最初の作品を出して以来、2 年毎に、戦略的に「バージョンアップ」、20 作品近くを出し続けています。高校・大学の同級生で、創業者のシブサワコウ (襟川陽一) 氏から大いに学びたく思います。

(3) 開倫塾でも、「ソフトパワー」を目指す 12 項目の一つ一つを、2 年ごとに磨き込み、パワー・アップをはかりたく思います。4 月から、毎月、1 項目ずつ、順番に挑戦をスタート。

○「ソフトパワー」は「幸福の青い鳥」と同じで、よくさがせば、近くにひそんでいると考えます。「大切なもの」は何かをしっかりと探し、大切に育てて参りましょう！

○〈何事も、「積小為大」、コツコツと、積み上げ、2 年間かけ、バージョンアップ〉致します。

10. このように、「ソフトパワー」とは何かを考える。「日本のソフトパワー」とは何か、「都道府県や市町村」「企業や団体、学校」、更には「自分自身のソフトパワー」とは何かを発見し、誰に遠慮することなく、自己責任・自助努力で磨き続ける。

よろしく願いいたします。

お身体お大切に。

2025 年 5 月 11 日 (日) 5 時 18 分